

専門科目履修モデル1「文学コースで古典文学を研究する」

学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得単位	卒業必要単位数	
必修科目	大学での国語力	2	日本文芸史ⅠA・B	4			卒業論文	8	30単位	30単位	
	日本文芸学概論A・B	4	文学概論A・B	4							
	日本語学概論A・B	4	日本文芸史ⅡA・B	4							
選択必修科目	ゼミ		ゼミナールA・B	4	ゼミナールA・B	4			8単位	8単位	合計 38 単位 以上
		特講	(1) 上代A・B	4	(4) 近世A・B	4	(10) 演劇A・B	4		24単位	
	(2) 中古A		2	(7) 漢文A	2	(5) 近代C	2				
	(3) 中世B		2	(2) 中古B	2	(16) 特域B	2				
選択科目	ゼミナール入門	2	古文・漢文の基礎	2	中国文芸史A・B	4	美術史(日本) A	2	14単位		
			くずし字入門	2	書誌学	2					
コメント	<p>クラス別に開かれる「大学での国語力」と「ゼミナール入門」は、調査力やプレゼン力を鍛えるために不可欠の授業です。「日本文芸学概論A・B」と「日本語学概論A・B」は、3年次までに履修しないと4年次に進級できない、基礎的・包括的な科目です。ゼミ選抜のためにも、1年次のうちに履修しましょう。</p> <p>以上を履修したうえで、選択必修科目の「特講」は、8単位まで履修できます。Webシラバスをよく読んで、上代・中古・中世・近世の中から、バランスよく履修しましょう。</p>		<p>2年次からは、選択必修科目のゼミナールが始まります。1年次の秋に行われるゼミ選抜によって所属ゼミが決まり、それによって所属コースが決定されます。文学コースに所属すると、「日本文芸史ⅠA・B」と「文学概論」と「日本文芸史ⅡA・B」が、必修科目となります。文学を通史的・俯瞰的に学ぶ授業です。履修しないと卒業できない科目です。</p> <p>選択必修科目の「特講」は、上代・中古・中世・近世・漢文・近代・現代の中から、バランスよく履修しましょう。</p>		<p>順調に履修できていれば、3年次には、ゼミナールでの学習も2年目となり、卒業論文で取り上げたいテーマが徐々に固まって来る時期でしょう。3年次には、様々な時代・様々なジャンルを学んでおきたいものです。古典文学で卒業論文を書くとき、現代の文学理論や他ジャンルの研究方法も、役に立つでしょう。</p> <p>選択必修科目の「特講」の中には、詩歌・沖縄文芸・演劇・国際日本学・特域など、ジャンルをまったく授業が用意されています。3年次は、視野を広げる時期と考えましょう。</p>		<p>3年次末の時点で、ゼミナールの単位数が0の場合は、4年次に進級することはできません。</p> <p>4年次には、卒業論文に取り組みます。卒論は、これまで培った調査力・思考力・表現力などを結集する、学業の集大成です。卒論の作成によって、8単位を取得することになります。</p> <p>4年次までに、卒業に必要な単位を満たしていれば、4年次には、学びたい科目を比較的自由に履修できます。日本文学以外の専門科目や自由科目も履修できます。大学生生活最後の1年を有効に活用してください。</p>		<p>日本文学部の専門科目では、上記の必修科目と選択必修科目と選択科目以外に、自由科目を8単位以上履修する必要があります。そのとき注意すべきなのは、総単位数です。必修科目や選択必修科目等の必要単位数を満たしていても、総単位数で卒業必要単位数を満たしていないということがないように、注意しましょう。</p>		